

令和2年度（後期）科目等履修生・聴講生 受入科目

科目名	教員名	曜日／時限	受入人数 の上限	期待する勉学の姿勢(履修・聴講条件)	上限を上回る場合 の選抜の方針	学期	備考
緑環境景観機能評価論	山本 聡	木曜／3時限	4名程度	緑地学・造園学に関わる基礎的な用語について理解していることが望ましい。	セミナーや研究生など他のコースを紹介	1後	
環境文化活用論	竹田 直樹	水曜／1時限	4名程度	特になし	上回る場合は別に講義を行う	1後	
緑環境景観政策演習	平田 富士男	火曜／1・2時限	4名程度	緑環境を活かしたまちづくり政策やまちづくり活動の現場で、その活動に実際に取り組んでいこうとするため、必要となる知識や技術を身につけようとする勉強姿勢を期待する。 また、計画資料や図の作成を学生のグループ作業でかなり行うので、学生とグループ作業を積極的かつ円滑に行えることを条件とする。具体的には作業の一部を分担してパソコンでの図面作成や資料作成が行えること、それら資料のメールでのやりとりが行えること、必要なときには授業時間外でも話し合いに参加することなどが求められる。	面接で、受講動機や受講成果の活用方針、さらには左記に記した条件をクリアできるか等を確認し、受講者を決定する	1後	
市民主体の緑環境 マネジメント論	林 まゆみ	火曜／3時限	4名程度	市民主体での緑環境マネジメントを学ぼうとする意欲があること。		1後	

遠隔授業の場合もある。

科目により下記の受入条件を付す場合がある

- ・研究科学生とのグループ作業を積極的かつ円滑に行えること。
- ・パソコンでの図面作成、資料作成が行えること。
- ・ウェブメールの活用が可能なこと。
- ・授業時間外でのグループ作業に参加すること。